



令和4年度 ふじさんネットワーク 総会の開催



令和4年度のふじさんネットワーク総会が、6月19日(日)に沼津市のプラザヴェルデにおいて開催されました。正会員258団体のうち、出席26団体、委任状提出117団体の計143団体の参加により総会は無効に成立し、令和3年度収支決算、令和4年度収支予算案等すべての議案が承認されました。

また、今年度富士山エコサポーターに登録される2名に対して、増澤会長から登録証が手渡され、励ましの言葉が送られました。



増澤会長から富士山エコサポーター2名に励ましの言葉

総会終了後は、令和3年度に幹事に就任した4団体の代表者(「ホールアース研究所」山崎宏氏、「森のたね」井戸直樹氏)、「富士山エコレンジャー連絡会」吉永耕一氏

「富士自然観察の会」小澤緑氏が、各団体を紹介する発表会を行いました。環境教育や農林業、富士山周辺の来訪者への啓発等、それぞれの団体の活動について聞いていただいたことで、参加者にも団体の特徴や長所が伝わったものと思います。



今後、更にふじさんネットワーク内外の連携を強め、富士山を保全する活動が活発に行われていくことが期待されます。



幹事による団体の活動発表

NEWS × COLUMN × REPORT



富士山エコレンジャー 連絡会の活動



富士山エコレンジャー連絡会(以降、連絡会)の総会は、令和2年度、3年度は書面開催でしたが、令和4年度は3年振りに対面で開催することができました。



合同環境パトロール前のミーティング

総会の議事として、令和3年度の活動報告や令和4年度の活動計画、役員改選等について承認されるとともに、今年度富士山エコサポーターに登録される2名の方に自己紹介と今後の抱負を話していただきました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に配慮しつつ、4月から10月までの間も合同環境パトロールを開催し、富士山自然休養林周辺から山頂まで、登山

者への啓発活動や自然環境の調査等の活動を行っていただきました。

富士山エコサポーターから富士山エコレンジャーになるための富士山エコレンジャー養成研修は、新型コロナウイルス感染者数が多かった年度前半を避け、年度後半に行います。今後も座学や現地での研修を重ねて、富士山に関する知識と経験を心得て、来訪者へのマナー啓発や現地の巡視など、富士山の自然を守る活動を行っていただきたいと思います。

富士山の自然環境の保全活動にご興味がある方は、是非ふじさんネットワーク事務局までご連絡ください。



遊歩道をふさぐ倒木